

教育後援会だより

発行/朝日大学歯学部 教育後援会
〒501-0296 岐阜県瑞穂市 穂積1851番地
TEL 058-329-1198(直通)
FAX 058-329-1069
http://www.asahi-udkk.jp

『教育後援会だより』

十号の発刊に寄せて



教育後援会

会長 清水浩一

会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥で過ごされることとお慶び申し上げます。

さて、私は四月二十二日の平成十八年度歯学部教育後援会定期総会において、会長に選任されました。森襄介前会長の退会に伴い、このような大役を引き受けする事となりました。浅学菲才のため何かといたらぬ所もございましたが、その重責を全うすべく全身全霊を打ち込む所存ですので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

私たち教育後援会は、皆様方の子弟である学生が歯学部に入学した最初の気持ち「歯科医師になる」を忘れないように努力し、大学との信頼関係を大切に、大学との節度ある関係を守りながら、学生たちが、一年でも早く卒業し、国家試験に合格

するために活動しております。

そのため教育後援会のもっとも重要な活動の一つとして、支部懇談会という場で、大学の教育方針、進級、卒業等に関するお話、質問をしていただき、この会を皆様方に最大限に利用していただきたいと考えております。

今年度も全国八カ所の会場にて、長坂学長、藤下歯学部長はじめ多数の先生方に出席をお願いしております。また、我々役員も大きく入れ替わりましたので、出来る限り各会場に参加したいと考えております。ぜひとも、一人でも多くの会員の皆様方のご出席をお願い申し上げます。

最後に朝日大学と教育後援会の発展と、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を願い、ご挨拶とさせていただきます。

平成18年度教育後援会支部懇談会日程

本年も6月3日(土)北海道・東北・関東・甲信越・東京支部懇談会を皮切りに全国8会場において支部懇談会を次のとおり開催します。大学からも多数の先生方に出席いただけますので是非ご出席ください。

開催日	支部名	場所	大学出席者
6月3日(土) 12:00～17:00	北海道 東北 関東 甲信越 東京	南国酒家原宿店	◎小川教授 ○後藤教授 ☆土屋教授
6月24日(土) 15:00～21:00	静岡・愛知	アパホテル名古屋錦	◎高井教授 ○平田教授 ☆北後講師
7月8日(土) 14:00～20:00	滋賀・京都	京都センチュリーホテル	◎鶴房教授 ○磯崎教授 ☆永原助教
7月8日(土) 14:00～18:00	兵庫	神戸ポートピアホテル	◎中嶋教授 ○北井教授 ☆大橋助教
7月15日(土) 14:00～17:00	岐阜 三重 陸州 縄外	ウエルサンピア岐阜	◎小川教授 ○中嶋教授 ○高井助教 ☆土井教授
7月22日(土) 14:00～19:00	大阪 奈良・和歌山	ラマダホテル大阪 (旧 東洋ホテル)	◎小川教授 ○中嶋教授 ○鶴房助教 ○北井助教 ○石神助教 ☆堀田講師
7月23日(日) 12:00～17:00	中国	アークホテル岡山	◎平田教授 ○柏房教授 ☆磯崎教授
7月29日(土) 14:00～20:00	四国	高知パシフィックホテル	◎中嶋教授 ○石神助教 ☆田村教授

(◎印は教務説明者 ○印は学力強化説明者 ☆印は学生生活説明者)

平成18年度 役員紹介

- 顧問 宮田 侑 学校法人朝日大学理事長
長坂 信夫 学 長
藤下 昌己 歯学部長
西垣 浩 歯学部事務部長
- 会 長 清水 浩一
- 副会長 稲熊 弘敬
廣石 憲一
駒形 和男
- 常任幹事 高木 徹 支部長
(北海道・東北・関東・甲信越・東京)
中根 逸朗 支部長(静岡・愛知)
長屋 淑文 支部長(岐阜)
宇陀 秀晃 支部長(三重)
多田 利男 支部長(北陸)
浦壁 正夫 支部長(滋賀・京都)
大前 忠起 支部長(奈良・和歌山)
藤田 知洋 支部長(大阪)
浅原 昌三 支部長(兵庫)
岸 幹二 支部長(中国)
佐川 淳 支部長(四国)
西田 宗剛 支部長(九州)
盛島 明隆 支部長(沖縄)
堀田 智仁
東 隆
- 会計幹事 平岡 睦雄
- 監 事 三輪 嘉道
高木 久正

※教育後援会への要望等がありましたら、ご遠慮なく支部長までご連絡ください。

新年度の挨拶



歯学部部長

藤下昌己

今年もまた、一学年一二八名、二学年からの編入三名と新入生一三一名を迎え、新年度がスタートしました。新カリキュラムになって四年目となりますが、四学年では、五学年への進級基準の一つとしていよいよ今年度から本格的に共用試験を受験していただくこととなります。そして、共用試験合格者は五学年で診療参加型臨床実習(患者実習)を受けることとなります。そのため、大学は今それらの課題に対応すべく着々と準備を進めております。また、臨床研修必修化に伴い、歯科医師国家試験合格者が今年の四月から各施設で研修を受けております。本学附属病院では七二名が研修を受けており、病院内は現在、五学年の臨床実習生とともにその研修生で溢れています。また、四月二十二日(土)の教育後援会総会で報告しましたように、今年度の国家試験の結果は総受験者数三、三〇八名で合格者は二、六七三名、合格率八〇・八%(昨年は七四・六%)で、本学は、新卒と既卒を含めた一四一名中一〇九名が合格し、合格率は七七・三%(昨年は七五・七%)でした。今年例年になく、全国的に受験生の成績がよく、一般問題と実地問題ともにほぼ七〇%以上を取得しないと不合格という結果でした。本学ではこの結果を真摯に受け止め、目下対応を考えています。

今年も六月から全国八カ所で教育後援会主催の地区懇談会が始まりますし、六学年は六月四日(日)、一・二学年は十月二十一日(土)、三・五学年は二十二日(日)に本学主催で教育懇談会及び三者面談を予定しています。このような機会を通じて前述の現状と対応について説明させていただきますので、教育後援会の会員の皆様方にはこれらの懇談会等に出席され、大学の置かれている状況にご理解をいただき、皆様方と連携をとることにによりお子様方の学力・技能の一層の向上に繋がればと思っておりますので、今年もまたどうぞよろしくお願い申し上げます。

歯学部の新カリキュラム



教務委員長

小川知彦

二〇〇三年度の新入生から導入しました新カリキュラムも、ようやく四年目を迎えました。この間、二十一世紀医学医療懇談会の報告書にある臨床実習前教育として、準備教育および歯学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した学習到達目標に則した授業科目を各学年に漸次開講して参りました。本年度の四年生から、全国の歯科大学や歯学部が参加して行われている共用試験を本学においても本格運用し、その評価が五学年への進級要件の一つとして用いられます。

す。これらのことは、参加型臨床実習に臨むためにふさわしい能力をもった学生を育成することを目的としています。そのために、一年生から基礎学力を充分身につけ、継続的に勉強することが必須です。これらの基準をクリアした全国の歯科医学部が、卒業後に実施される歯科医師国家試験を受験することになります。学生諸君は、全国的視野にたつて、自らの行動計画を余裕をもって立ててほしいと思います。また、卒業臨床研修も本年度から必修となりました。今後、学生諸君は、大学院を含む将来の進道について、学部在学中に多くの人々と相談し選択してください。朝日大学歯学部は、今後も社会のニーズにすばやく応える柔軟性をもって、厳格でかつ暖かい歯科医学教育・研究体制を構築しながら、立派な歯科医師を養成して参ります。

学生生活委員会の本年の活動方針



学生生活委員長

田村康夫

私が歯学部学生生活委員長に任命され二年目に入りました。委員には昨年に引き続き、一年生担当として土屋博紀教授(英語学)と、一年生と全学女子担当で大橋たみえ助教授(社会学)、三年生担当北後光信講師(歯

周病学)、二年生担当土井豊教授(歯科理工学)の計九名です。また今年度の活動方針として、基本的な業務は勿論として昨年度に起こった事柄および教育後援会での要望などを考慮し、次の様な目標を考えました。①一年生への性格検査の実施と一年生に対する生活指導の徹底(昨年度は一七名の留年生を出した)、②救急搬送用具のA棟三階教室前への設置(昨年講義中に意識を失う学生がいた)、③歯学部学生の大学に対する意見箱の設置(学生の意見・不満などを汲み上げ指導に役立てる)、④A棟三階教育およびホールでの防犯ビデオカメラの設置(申請中、防犯意識および喫煙マナーの向上)、⑤課外活動(クラブ、同好会ほか)のあり方についての指導徹底、の五項目です。

一病息災と生活習慣



健康管理センター長

渡辺郁雄

広辞苑によれば一病息災とは「病気を持たないで健康である人よりも、一つくらい病気のある人のほうが健康に気を配るので長生きできること」とあります。こういった諺は誰にでも当てはまる訳ではありませんが、確かに健康そうで幅

内臓脂肪蓄積(胸囲 \geq 85cm、 \geq 90cmで代用)に加えて軽い高血圧、高脂血症、糖代謝障害などが揃った状態をいい、心筋梗塞をはじめ心臓血管系の病気がかかりやすいことが知られ、現在日本では一、三〇〇万人がこれにあたりと推定されています。

MSでは多くの場合自覚症状を伴わないので、本人や家族は病識がないばかりか人並み以上に健康感到満ちていることがしばしばあります。MS発症の誘因は長期にわたる過食、塩分・脂肪の摂り過ぎ、運動不足、喫煙などの不適切な生活習慣であることが多く、その生活習慣は子供のうち、若いうちから身につけられるものです。

一病息災が望ましいことではありませんが、言葉のもつ意味を理解し、大学生時代に好ましい生活習慣を身につけることは人の生涯にとって大きな意義があります。

平成十八年度 学年指導教授・指導教員紹介

学生諸君が今年も充実した学生生活が過ごせるよう、助言するために各学年ごとに指導教授・指導教員が次のとおり決められております。
 ご子女で、特に一年生につきましては、大学生活への期待と不安を抱きながら学問研究・真理研究・サークル活動にそれぞれ構想を抱いていると思いますが、悩み事等がある場合には、躊躇することなく、相談するようにご指導ください。きっと良い相談相手になってくださると思います。

一学年



教務担当
 鶴房 繁和 教授
 (化学)



教務担当
 後藤 隆泰 教授
 (物理学)



学生生活担当
 土屋 博紀 教授
 (英語)



学生生活担当
 大橋 たみえ 助教授
 (口腔衛生学)

二学年



教務担当
 柏保 正典 教授
 (歯科薬理学)



教務担当
 碓 哲崇 助教授
 (口腔生理学)



学生生活担当
 土井 豊 教授
 (歯科理工学)

三学年



教務担当
 平田 健一 教授
 (歯冠修復学)



教務担当
 堀田 正人 講師
 (歯冠修復学)



学生生活担当
 北後 光信 講師
 (歯周病学)

四学年



教務担当
 高井 良招 教授
 (高齢者歯科学)



教務担当
 石神 元 助教授
 (固定性義歯学)



学生生活担当
 都尾 元宣 教授
 (可撤性義歯学)

五学年



教務・学生生活担当
 永原 國央 教授
 (インプラント学)



教務・学生生活担当
 北井 則行 教授
 (歯科矯正学)

六学年



教務担当
 中嶋 正人 教授
 (歯内療法学)



教務・学生生活担当
 磯崎 篤則 教授
 (口腔衛生学)

() は担当授業科目

最近の若者

「最近の若者は、髪の毛を染め・悪い言葉を使い・深夜に遊び・挙げ句の果ては、大人になっても職にも就かないでいる。」自分が若かった頃、親のような年代に人たちが「最近の若者は…」というフレーズを聞いたときに嫌な気分を味わったものである。今の子供たちの「ウザイ」である。かくいう私も、二人の子供を持つ親になり「最近の若者は…」というフレーズを使ってしまったのだ。親からすると、子供たちがなにかだらしなく、危なっかし、不真面目と捉えてしまうものなのだろうか。本当に最近の若者はダメなのだろうか。本当に最近の若者はダメなのだろうか。

二学年指導教授 柏保 正典
 (歯科薬理学分野)

ののだろうか。

「個性の育成を尊重する教育」からはほど遠いと思われるシステムの中で成長してきた彼らが、僅かな個性を主張するかのよう染め、「過保護」という言葉の裏返しで悪い言葉を発して深夜に遊ぶ。現代社会があまりにも効率や経済性を重視してきたため、彼らの求める職が急激に減少し、フリーターやニートといった新職種が生まれているのである。

歯科医療の社会ではどうであろうか。学生たちは歯科医師になるべくして毎日教室にやってきて教科書、ノートを開いて勉学に励んでいる。高度で難解な試験のクリアを目指し、試験前には寝るのも惜しんでいる。彼らは少なくとも全国の平均的若者よりは優れていると思う。

国民が求める高度な歯科医療サービスを供給するために、共用試験が導入された。さらに国家試験の難易度も増している。それらに対応すべく本学の教育も変化してきた。簡単にいえば、難しいことを理解してたくさん覚えてもらうようになったのである。彼らは彼らなりに悩み、頑張つて努力している。私はそのように理解したい。2学年全員が、誰の目から見ても努力しているといわれるようになることを強く望んでいる。

指導教授・指導教員からひと言

五学年の教育方針、教育内容について

五学年指導教授 永原 國央
 (インプラント学分野)

二、それに立ち向かうにはどうしないといけないのか。の二点を中心に、学生個人のモチベーションを上げるよう指導しました。

朝日大学歯学部の子に係わらず、全国の歯学部の学生がそうであるように、四学年修了までは、各定期試験の二週間前、すなわち、一年三六五日間の中でたった二三日しか勉強しない学生、よくするに「ほとんどの知識が頭に残っていない学生をどのように指導し、二年後の国家試験をクリアさせるか」というのが教育方針のすべてだと言っても過言ではありません。国家試験に立ち向かうためには、多くの時間を費やし、多くの知識を学生一人一人が自分のものにするという勉強法を実行しなければいけません。すなわち、歯科医師へのモチベーションをしっかりと持つ事により、これに立ち向かうことができるのです。

四月の学年始めのオリエンテーション時に、歯科医師となるための国家試験。御理解をいただき、御協力をお願い申し上げます。

学 年 暦

月 日	1～4 学 年	5 学 年	6 学 年
7月15日(土)	前学期授業終了(1～3学年)		
7月18日(火)～8月19日(土)	夏季休業期間(1～3学年)		
7月21日(金)	前学期授業終了(4学年)		
7月22日(土)～8月19日(土)	夏季休業期間(4学年)		
7月29日(土)		前学期授業終了	
7月31日(月)～8月26日(土)		夏季休業期間	
8月21日(月)～8月30日(水)	前学期定期試験期間		
8月29日(火)～8月30日(水)		前学期定期試験期間	
8月31日(木)～9月6日(水)	前学期科目補講期間		
9月4日(月)～9月6日(水)		前学期科目補講期間	
9月7日(木)		前学期追・再試験	
9月7日(木)～9月16日(土)	前学期追・再試験期間		
9月11日(月)		後学期授業開始	
9月19日(火)	後学期授業開始		
10月27日(金)～10月29日(日)	朝日祭(休講)	朝日祭	朝日祭
12月22日(金)	後学期授業終了		
12月25日(月)～1月5日(金)	冬季休業期間	冬季休業期間(～1月6日(土)まで)	
1月9日(火)～1月30日(火)	後学期定期試験期間		
1月19日(金)	創立記念日(休校)	創立記念日(休校)	創立記念日(休校)
1月31日(水)～2月6日(火)	後学期科目補講期間		
2月7日(水)		後学期授業終了	
2月7日(水)～2月17日(土)	後学期追・再試験期間		
2月9日(金)～2月14日(水)		後学期定期試験期間	
2月15日(木)～2月17日(土)		後学期科目補講期間	
2月19日(月)～2月20日(火)		後学期追・再試験期間	
2月19日(月)～2月26日(月)	科目補講期間(年度末再試験受験者対象)		
2月21日(水)～2月28日(水)		臨床実習Ⅰ補講期間	
3月1日(木)～3月3日(土)		科目補講期間(年度末再試験受験者対象)	
3月1日(木)～3月10日(土)	年度末再試験期間		
3月6日(火)～3月8日(木)		年度末再試験期間	
3月26日(月) 予定			学位記授与式

(参考) 第38回日本歯科学学生総合体育大会(平成18年7月29日(土)～8月11日(金))

*共用試験(4学年対象)の実施日程については、別途学生に案内します。
上記学年暦は5月1日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

歯科医師臨床研修マッチング参加施設ガイド

平成17年度歯科医師臨床研修マッチングプログラム参加施設の主な施設を抜粋しましたので参考にしてください。なお、平成18年度版の詳細については、卒後臨床研修の検索システム <http://www.d-reisjp.org/> にてご確認ください。

臨床研修施設である大学等附属病院

□歯科大学・歯学部附属病院

- 北海道大学病院(北海道)
- 北海道医療大学病院(北海道)
- 北海道医療大学歯科内科クリニック(北海道)
- 岩手医科大学附属病院歯科医療センター(岩手県)
- 東北大学歯学部附属病院(宮城県)
- 奥羽大学歯学部附属病院(福島県)
- 明海大学歯学部附属明海大学病院(埼玉県)
- 東京歯科大学市川総合病院(千葉県)
- 東京歯科大学千葉病院(千葉県)
- 日本大学松戸歯学部附属歯科病院(千葉県)
- 東京医科歯科大学歯学部附属病院(東京都)
- 昭和大学歯科病院(東京都)
- 東京歯科大学水道橋病院(東京都)
- 日本歯科大学歯学部附属病院(東京都)
- 日本大学歯学部附属歯科病院(東京都)
- 神奈川歯科大学附属病院(神奈川県)
- 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック(神奈川県)
- 鶴見大学歯学部附属病院(神奈川県)
- 新潟大学医学部総合病院(新潟県)
- 日本歯科大学新潟歯学部附属病院(新潟県)
- 松本歯科大学病院(長野県)
- 朝日大学歯学部附属病院(岐阜県)
- 愛知学院大学歯学部附属病院(愛知県)
- 大阪大学歯学部附属病院(大阪府)
- 大阪歯科大学附属病院(大阪府)
- 岡山大学医学部・歯学部附属病院(岡山県)
- 広島大学病院(広島県)
- 徳島大学病院(徳島県)
- 九州大学病院(福岡県)
- 九州歯科大学附属病院(福岡県)
- 福岡歯科大学医科歯科総合病院(福岡県)
- 長崎大学医学部・歯学部附属病院(長崎県)
- 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院(鹿児島県)

□医科大学・医学部附属病院

- 旭川医科大学医学部附属病院(北海道)
- 札幌医科大学附属病院(北海道)
- 弘前大学医学部附属病院(青森県)
- 秋田大学医学部附属病院(秋田県)
- 山形大学医学部附属病院(山形県)
- 福島県立医科大学医学部附属病院(福島県)
- 筑波大学附属病院(茨城県)
- 自治医科大学附属病院(栃木県)
- 獨協医科大学附属病院(栃木県)
- 群馬大学医学部附属病院(群馬県)
- 埼玉医科大学附属病院(埼玉県)
- 埼玉医科大学総合医療センター(埼玉県)
- 千葉大学医学部附属病院(千葉県)

- 東京大学医学部附属病院(東京都)
- 慶應義塾大学病院(東京都)
- 帝京大学医学部附属病院(東京都)
- 東京医科大学病院(東京都)
- 東京慈恵会医科大学附属病院(東京都)
- 東京女子医科大学病院(東京都)
- 東京女子医科大学東医療センター(東京都)
- 日本大学医学部附属板橋病院(東京都)
- 横浜市立大学医学部附属病院(神奈川県)
- 東海大学医学部附属病院(神奈川県)
- 富山医科薬科大学附属病院(富山県)
- 金沢大学医学部附属病院(石川県)
- 金沢医科大学病院(石川県)
- 福井大学医学部附属病院(福井県)
- 山梨大学医学部附属病院(山梨県)
- 信州大学医学部附属病院(長野県)
- 岐阜大学医学部附属病院(岐阜県)
- 浜松医科大学医学部附属病院(静岡県)
- 名古屋大学医学部附属病院(愛知県)
- 名古屋市立大学病院(愛知県)
- 愛知医科大学附属病院(愛知県)
- 藤田保健衛生大学病院(愛知県)
- 三重大学医学部附属病院(三重県)
- 滋賀医科大学医学部附属病院(滋賀県)
- 京都大学医学部附属病院(京都府)
- 京都府立医科大学附属病院(京都府)
- 大阪医科大学附属病院(大阪府)
- 近畿大学医学部附属病院(大阪府)
- 神戸大学医学部附属病院(兵庫県)
- 兵庫医科大学病院(兵庫県)
- 奈良県立医科大学附属病院(奈良県)
- 和歌山県立医科大学附属病院(和歌山県)
- 鳥取大学医学部附属病院(鳥取県)
- 島根大学医学部附属病院(島根県)
- 山口大学医学部附属病院(山口県)
- 香川大学医学部附属病院(香川県)
- 愛媛大学医学部附属病院(愛媛県)
- 高知大学医学部附属病院(高知県)
- 久留米大学病院(福岡県)
- 福岡大学病院(福岡県)
- 佐賀大学医学部附属病院(佐賀県)
- 熊本大学医学部附属病院(熊本県)
- 大分大学医学部附属病院(大分県)
- 宮崎大学医学部附属病院(宮崎県)
- 琉球大学医学部附属病院(沖縄県)

臨床研修施設として指定されている医療機関

□病院

- 恵佑会札幌病院(北海道)
- 旭川赤十字病院(北海道)
- 市立札幌病院(北海道)
- 釧路赤十字病院(北海道)
- 日之出歯科診療所(北海道)
- 日之出歯科真駒内診療所(北海道)
- 日鋼記念病院(北海道)
- 北海道事業協会函館病院(北海道)
- 八戸赤十字病院(青森県)
- 青森県立中央病院(青森県)
- いわき市立総合磐城共立病院(福島県)
- 会津中央病院(福島県)
- 足利赤十字病院(栃木県)
- 埼玉生活協同組合埼玉協同病院(埼玉県)
- 埼玉県大病院(埼玉県)
- 総合病院国保旭中央病院(千葉県)
- 亀田総合病院(千葉県)
- 国保直営総合病院君津中央病院(千葉県)
- テシマ歯科医院(千葉県)
- 聖路加国際病院(東京都)
- 王子生協病院歯科(東京都)
- 国立国際医療センター(東京都)
- 三井記念病院(東京都)
- 東京都立広尾病院(東京都)
- 東京都立荏原病院(東京都)
- 東京都立墨東病院(東京都)
- 東京都立府中病院(東京都)
- 東京都立駒込病院(東京都)
- 東京都立大塚病院(東京都)
- 東京都立豊島病院(東京都)
- 東京都老人医療センター(東京都)
- 町田市民病院(東京都)
- 藤沢市民病院(神奈川県)
- 関東労災病院(神奈川県)
- 横浜労災病院(神奈川県)
- 市立砺波総合病院(富山県)
- 金沢医療センター(石川県)
- 福井県立病院(福井県)
- 巨摩共立病院(山梨県)
- 浅間総合病院(長野県)
- 飯田市民病院(長野県)
- 長野赤十字病院(長野県)
- 大垣市民病院(岐阜県)
- 岐阜県立岐阜病院(岐阜県)
- 岐阜県立多治見病院(岐阜県)
- 藤枝市立総合病院(静岡県)
- 榛原総合病院(静岡県)
- 県西部浜松医院センター(静岡県)
- 名古屋第一赤十字病院(愛知県)
- 名古屋第二赤十字病院(愛知県)
- 名古屋掖済会病院(愛知県)
- 総合大雄会病院(愛知県)
- 刈谷総合病院(愛知県)
- 豊橋市民病院(愛知県)
- 碧南市民病院(愛知県)
- さくら病院(愛知県)
- 春日井市民病院(愛知県)
- 稲沢市民病院(愛知県)
- トヨタ記念病院(愛知県)
- 小牧市民病院(愛知県)
- 岡崎市民病院(愛知県)
- 市立四日市病院(三重県)
- 公立甲賀病院(滋賀県)
- 京丹後市立久美浜病院(京都府)
- 宇治徳洲会病院(京都府)
- 大阪府立急性期・総合医療センター(京都府)
- 大津市民病院(滋賀県)
- 洛和会音羽病院(京都府)
- 小松病院(大阪府)
- 友誼会総合病院(大阪府)
- 名取病院歯科口腔外科(大阪府)
- 公立豊岡病院(兵庫県)
- 神戸市立中央市民病院(兵庫県)
- 近畿中央病院(兵庫県)
- 姫路赤十字病院(兵庫県)
- 兵庫県立淡路病院(兵庫県)
- 日本赤十字社和歌山医療センター(和歌山県)
- 紀南病院(和歌山県)
- 松江市民病院(島根県)
- 公立みつぎ総合病院(広島県)
- 山口県立総合医療センター(山口県)
- 三豊総合病院(香川県)
- 香川県立中央病院(香川県)
- 高知医療センター(高知県)
- 聖マリア病院(福岡県)
- 九州医療センター(福岡県)
- 伊東歯科医院(熊本県)
- 熊本医療センター(熊本県)

歯科医師臨床研修マッチングプログラム日程表

平成18年度の歯科マッチングの主な日程は下記のとおりです。
詳しくは、歯科臨床研修マッチング協議会ホームページ <http://www.drmp.jp/> にてご確認ください。
また、本学学生向けの説明会は6月22日(木)に行われます。

6月27日(火)	参加登録開始
8月1日(火)	参加登録締切
8月22日(火)	希望順位表登録開始
10月17日(火)	希望順位表登録締切
10月31日(火)	マッチング結果発表

教育後援会 ホームページ

教育後援会では、活動の一環として、各父兄間の情報伝達をより緻密なものとするのと同時に、学生にも我々父兄の考えや活動を知ってもらい、学業の向上を図る意味合いを考え、教育後援会のホームページを開設しております。情報量はまだまだ不十分と考えますが、順次内容の充実を図っていく計画ですので、是非一度下記アドレスにアクセスして見てください。ホームページのアドレスは、<http://www.asahi-udkk.jp> です。

●おねがい●

平成18年度の会員名簿は平成18年4月6日現在で作成致しました。誤記等の場合は添付の用紙でお知らせ下さい。